

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
商業	情報処理	3	2-2、2-3

1. 学習の到達目標

- ・コンピュータの基本的なしくみやソフトウェアなど、情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得する。
- ・表計算ソフトウェアを利用して、情報を収集・整理して分析・伝達するなどの活用に必要な能力と態度を育てる。
- ・全商情報処理検定試験3級合格を目標とする。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基礎知識・技術の学習 ・ハードウェアに関する知識 ・ソフトウェアに関する知識 ・通信ネットワークに関する知識 ・情報モラルとセキュリティに関する知識 ・表計算ソフトウェアに関する知識 ・データベースソフトウェアに関する知識 ・Microsoft Excel の基礎的な実技演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作ができるようにする。 ・合計、平均、最大値、最小値、判定、件数カウント、端数処理、順位付けや日付などの関数を利用できるようにする。 ・グラフを用いて表のデータをわかりやすく表現できるようにするため、グラフの基礎知識や作成方法を学ぶ。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定試験3級受検のための練習（実技・筆記） ・検定問題演習 ・3級の項目の応用・活用。 ・ハードウェアに関する知識（応用） ・ソフトウェアに関する知識（応用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の全商情報処理検定3級受検に向けての内容を学習する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定試験3級受検のための準備 ・通信ネットワークに関する知識（応用） ・関数 VLOOKUP・HLOOKUP の演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定終了後、全商情報処理検定試験2級ビジネス部門の受検に向けての内容を実習する。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による評価
------	-----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	商業に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実線的な態度を身に付けている。	商業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・本質的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の意義や役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	情報処理 （実教出版）
副教材	学習と検定 Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト改定版 3級